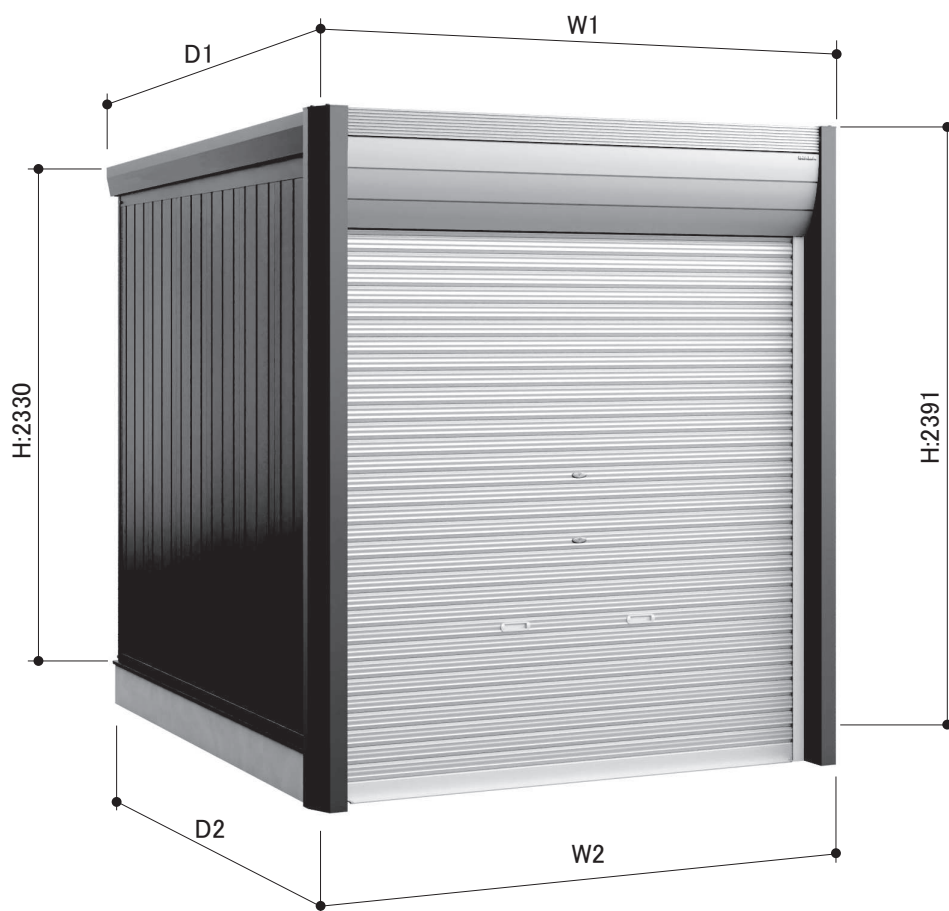


組立説明書

このたびは、イナバガレージ「アルシアフィット」をお買い上げくださり誠にありがとうございました。
 私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。
 どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
 なお、この製品の組み立て、ご使用にあたっての注意についてご説明いたしますので、かならずお読みください。
 組立説明書の基礎・転倒防止工事(アンカー工事)については標準的施工方法とします。
 組立説明書と異なる施工を行う場合は、予め当社にご相談ください。

写真はDM-2226HDA



寸法図
(単位:mm)

機種	W1	W2	D1	D2
DM-1826H	1870		2815	2735
1830H			3235	3155
2226H			2815	2735
2230H	2290		3235	3155
2235H			3655	3575
2626H	2710		2815	2735
2630H			3235	3155
2635H			3655	3575



1. 転倒防止工事を必ず行ってください。
2. 風の強い日の組み立ては避けてください。
3. ユーザーの組み立てはなるべく2人以上で行ってください。
4. 30kg以上の梱包や部材の運搬は、2人以上で行ってください。
5. 組み立て時は、ヘルメット・手袋・長袖シャツなどの保護具や脚立等を使用してください。
6. 組み立て中は部材の転倒防止のために、つかい棒やロープなどを使用してください。
7. 組み立て途中で放置しないでください。
8. 高トルクのインパクトドライバーをご使用の際は、ボルトの締めすぎにご注意ください。

組立順序のご説明

組み立てにあたって、部品の共通性・互換性を持たせるために、取り付け穴が余分にあけてあります。相手に穴のない所はボルト締めする必要はありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄った締め方をすると、部品が入らなかったり穴が合わない場合がありますので、この場合はネジをゆるめ調整してください。

1. 基礎施工（土間タイプ）

入口部の基礎高さが、地盤面(G.L)かつ土間面(F.L)のどちらからも50~200mm（高基礎仕様の場合：200~500mm）の範囲に納まるように、水盛り・遣り方にしながら根伐・砂利等で地固めをし、下図のように基礎を作ります。

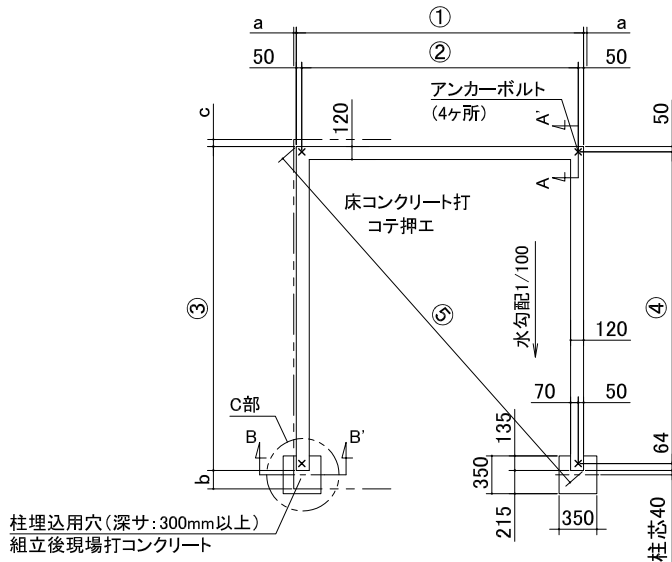
※この説明書における基礎は標準施工図面です。強風地、軟弱な地盤、寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にしてください。

安全確保のため、転倒防止工事には十分注意してください。

[単位:mm]

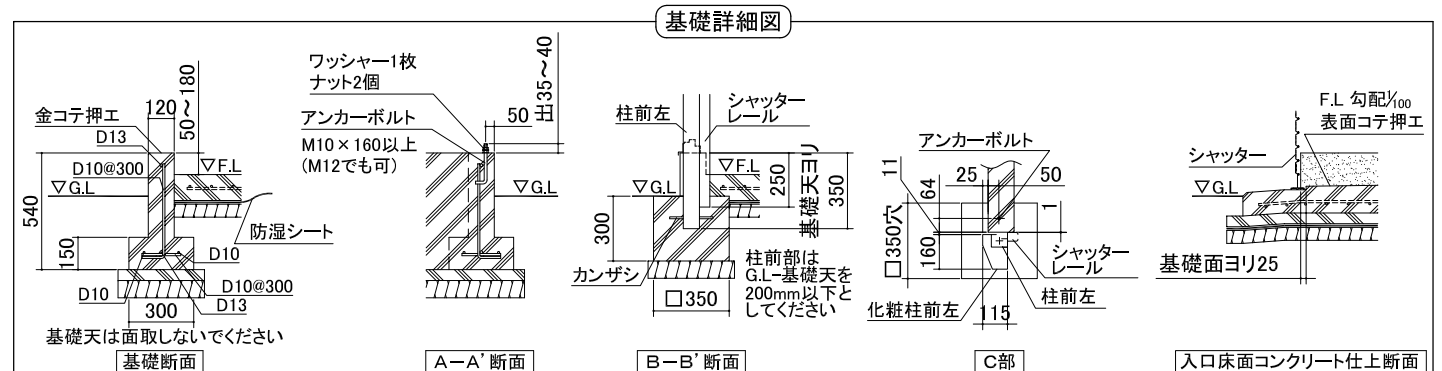
× …アンカーボルト位置を示す - - - - - …屋根のラインを示す a,b,c…屋根の出幅を示す(a=25,b=171,c=65)

⚠ 注意
アンカーボルトは布基礎芯ではありません。



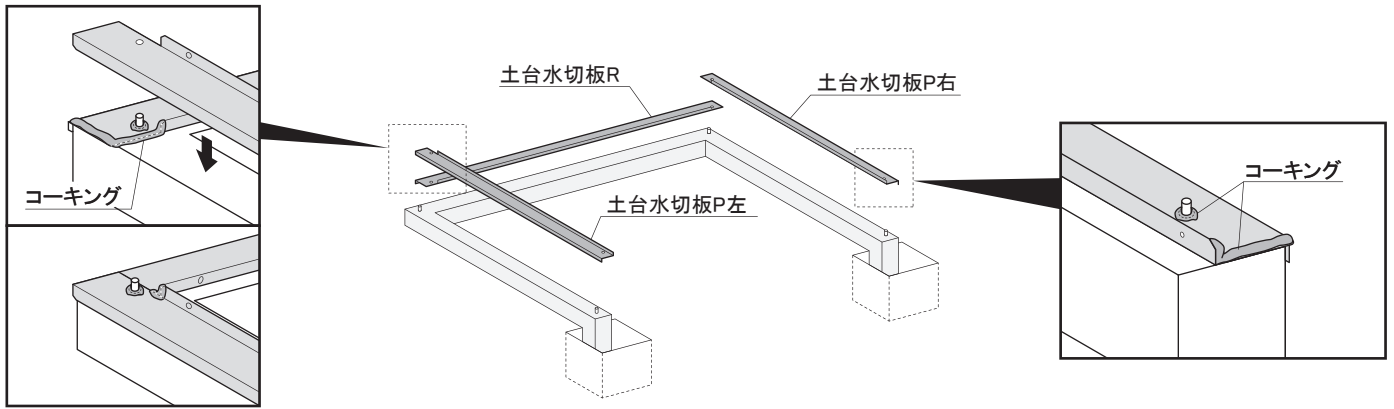
基礎寸法一覧

	①	②	③	④	⑤
DM-1826型	1820	1720	2579	2465	3156.5
DM-1830型	1820	1720	2999	2885	3508.1
DM-2226型	2240	2140	2579	2465	3416
DM-2230型	2240	2140	2999	2885	3743.2
DM-2235型	2240	2140	3419	3305	4087.4
DM-2626型	2660	2560	2579	2465	3705
DM-2630型	2660	2560	2999	2885	4008.7
DM-2635型	2660	2560	3419	3305	4331.9



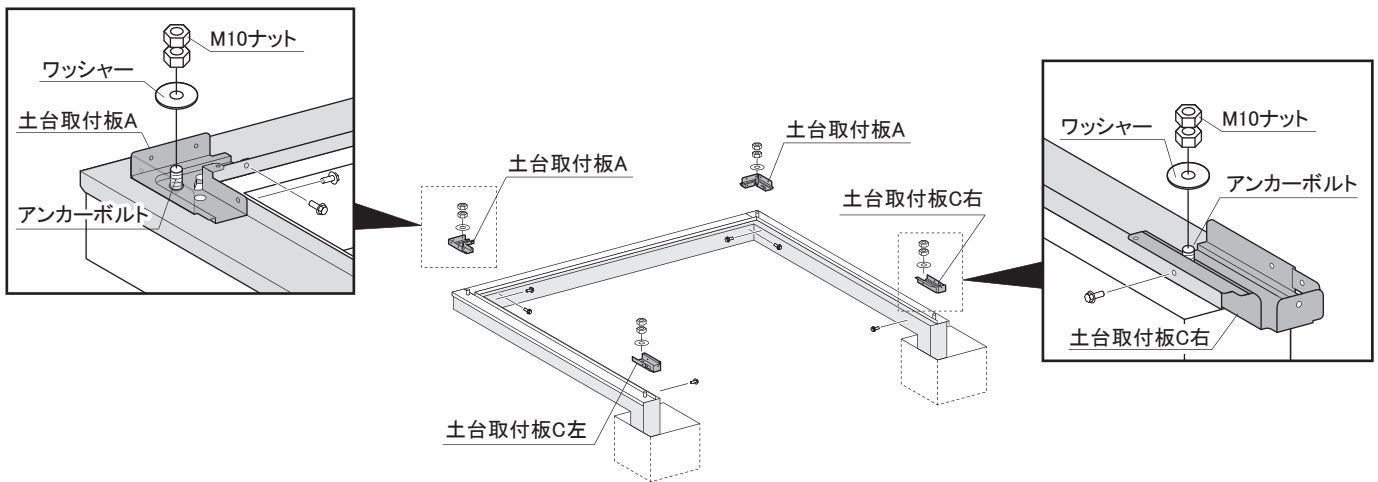
2.土台水切板取付

土台水切板を基礎にのせ、つなぎ部分とアンカーボルト用の穴を下図のようにコーキングします。



3.土台取付板取付

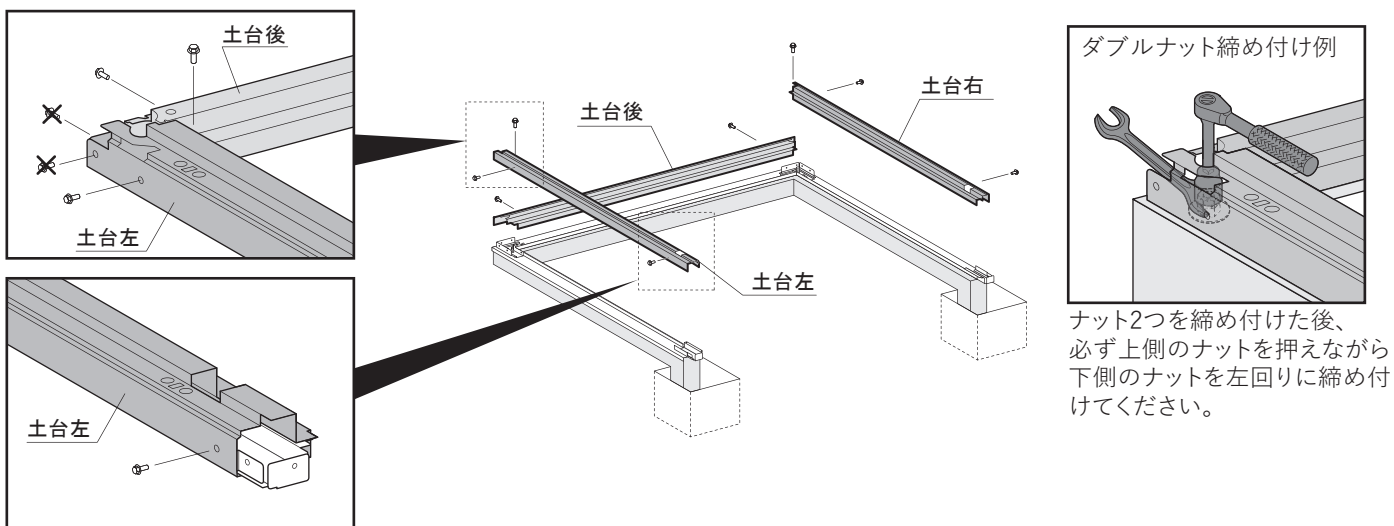
土台取付板A、Cを土台水切板にM6ボルトで取り付け、ワッシャー、ナットをアンカーボルトに**仮止め**します。



M6ボルト:6本

4.土台取付

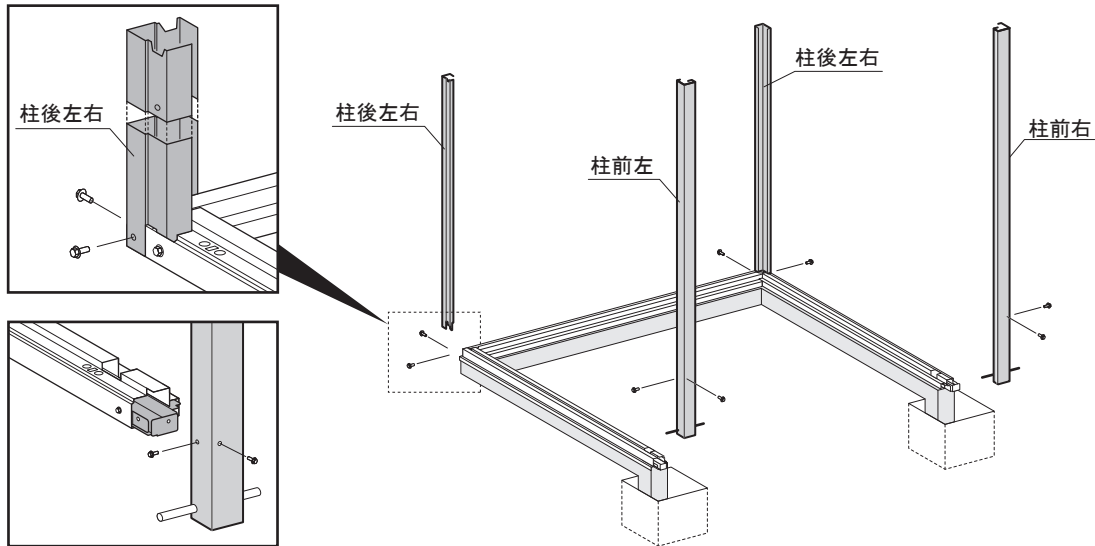
- ①土台後を土台取付板Aにかぶせます。次に土台右・土台左を土台後と土台取付板Cにかぶせ、ボルトを**仮止め**します。直角を出してからボルトを**本締め**してください。
※外側隅部の穴はボルトをとめないでください。(柱の取り付けができなくなります。)
- ②仮止めしてあったアンカーボルトを締めます。
※アンカーボルトは**ダブルナット**(ナット2つ)によるゆるみ止めを確実にこなってください。



M6ボルト:8本

5. 柱取付

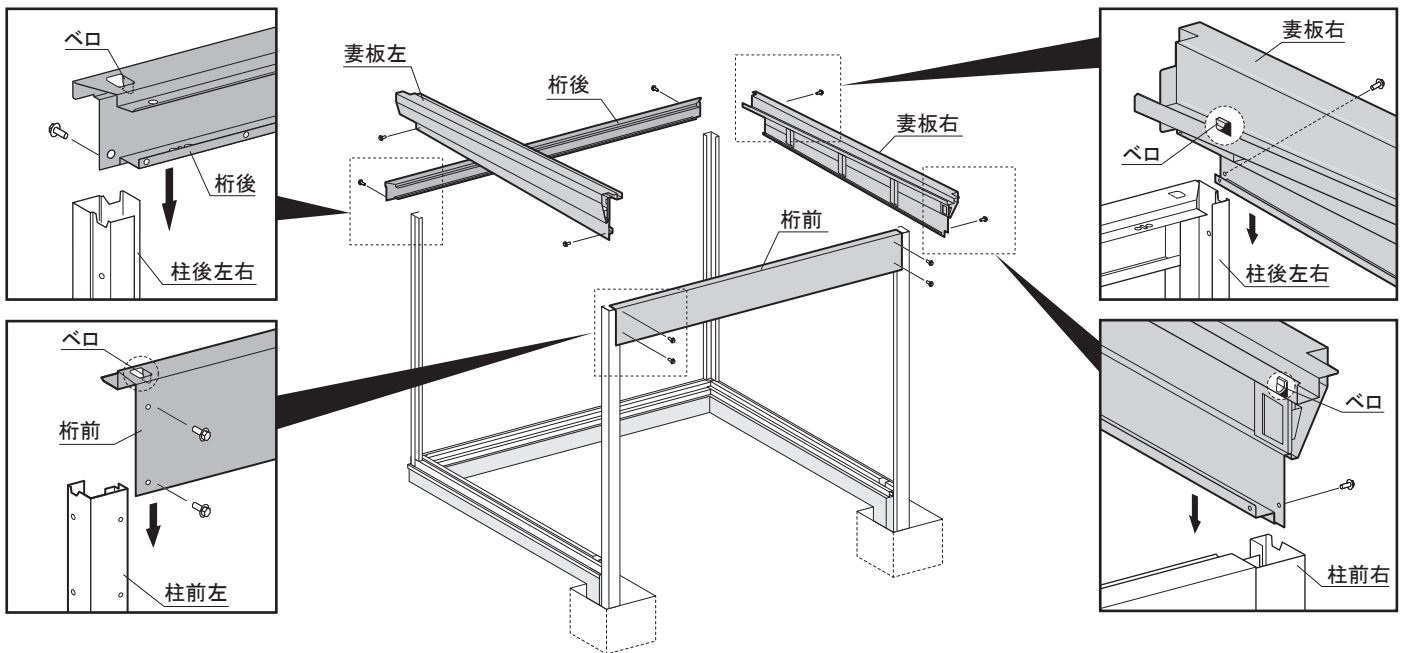
- ① 柱後左右を土台に差し込みM6ボルトで取り付けます。
- ② 柱前右・柱前左にカンザシを入れ、土台取付板CにM6ボルトで取り付けます。



M6ボルト: 8本

6. 桁・妻板取付

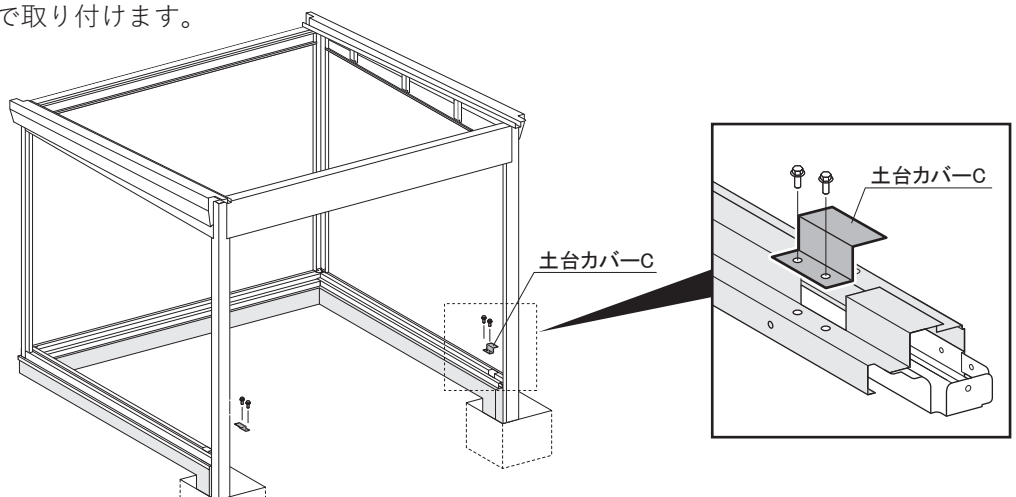
- ① 桁前、桁後のペロを柱にひっかけ、M6ボルトで取り付けます。
- ② 妻板右・妻板左のペロを柱にひっかけ、M6ボルトで取り付けます。



M6ボルト: 10本

7. 土台カバーC取付

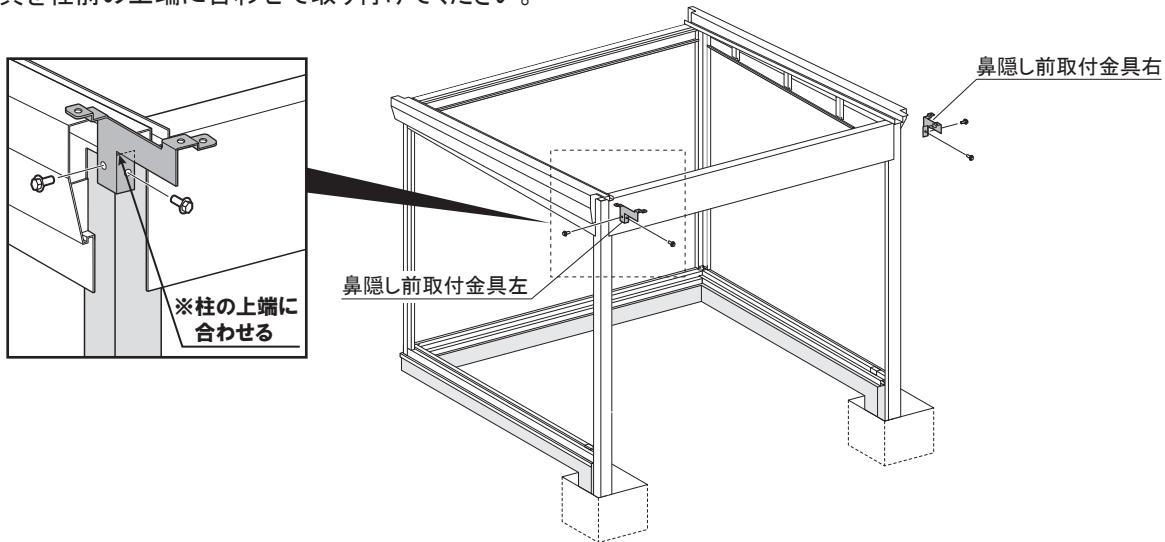
土台カバーCを土台にM6ボルトで取り付けます。



M6ボルト: 4本

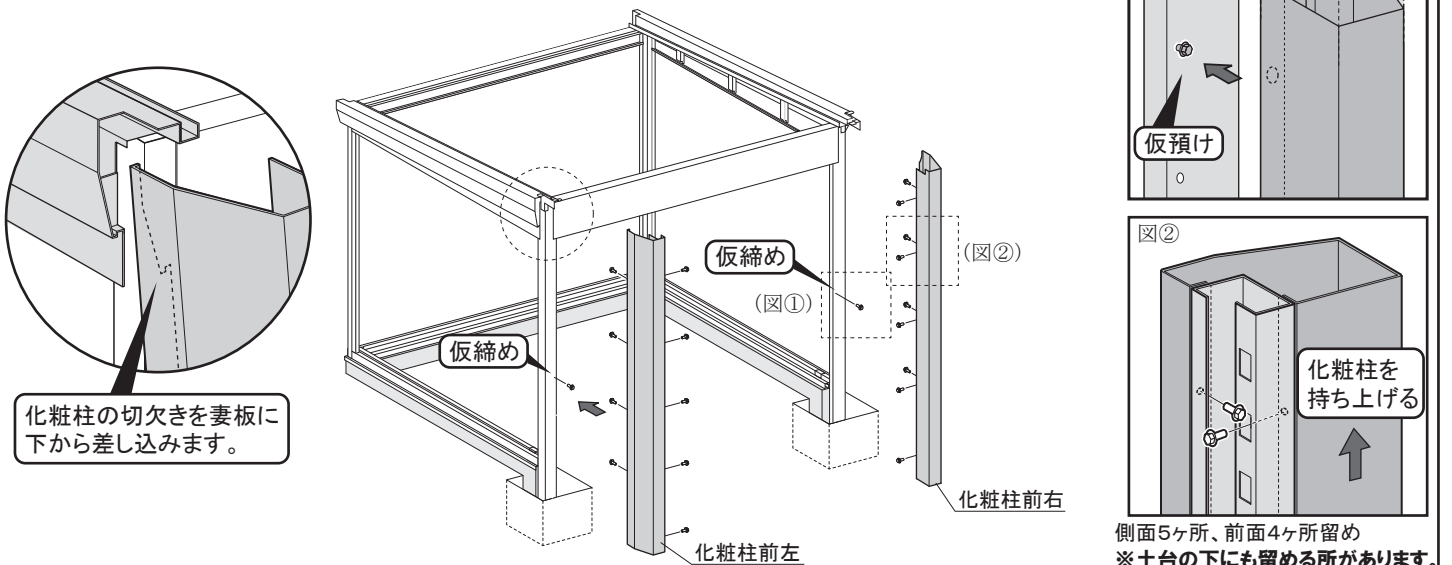
8.鼻隠し前取付金具取付

鼻隠し前取付金具右・左を柱前にM6ボルトで取り付けます。
※金具を柱前の上端に合わせて取り付けてください。



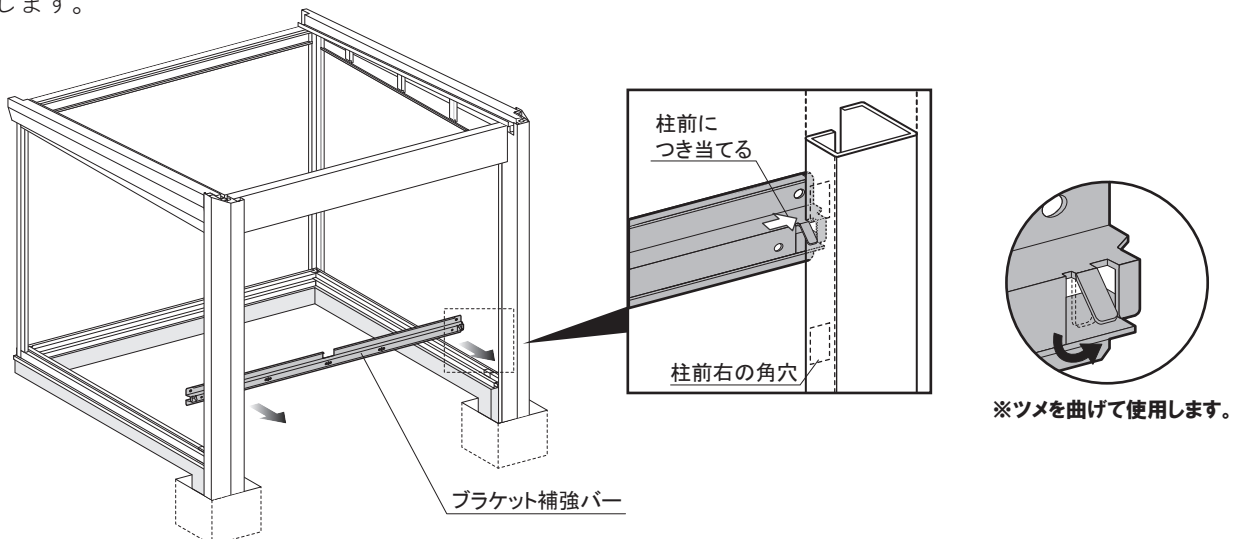
9.化粧柱前取付

柱前にM6ボルトを仮締めし、そこに化粧柱前右・左をひっかけて仮預けします。(図①)
次に化粧柱前右・左を持ち上げて穴を合わせ、庫内側からM6ボルトで取り付けます。(図②)
※仮締めのボルトは落下防止用なので、化粧柱を引っかけただけの状態ではボルト留めできません。



10.ブラケット補強バー取付

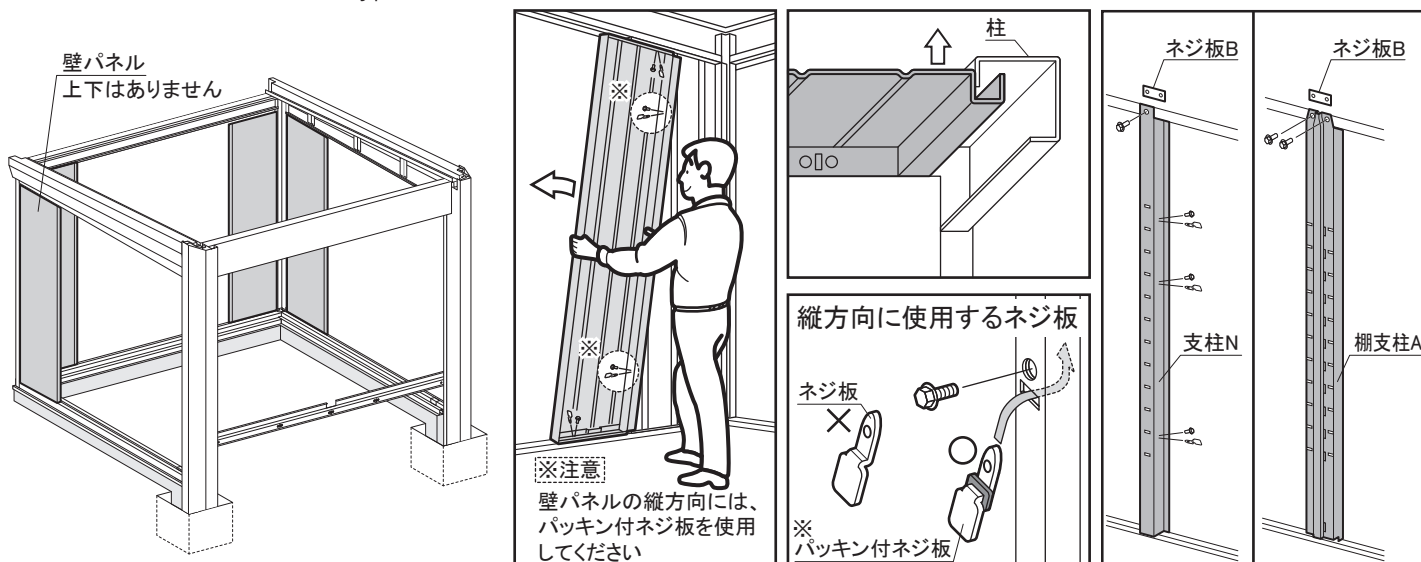
ブラケット補強バーの両端にあるツメをプライヤーやマイナスドライバー等で曲げ、柱前の下部に引っかけて柱位置を確認します。



11. 壁パネル取付

壁パネル4枚を下図のように内側から柱後にボルトとネジ板で取り付けます。(ゆがみや倒れの防止になります。)

※下図の壁パネルの位置にType Bの高窓、オプション壁等が付く場合、壁パネルの取り付けは不要です。



● 壁パネル組合せ図

壁パネルの組立順が違いますと、棚板が付かない・雨もりがする等の原因となります。

※部以外の壁パネルは、「15.鼻隠し・土台カバーA・化粧柱キャップ取付」(P.7)で取り付けてください。

Type Bの高窓と各種オプション壁等は各々の組立説明書を参照し、壁パネルと同時に取り付けてください。

間口

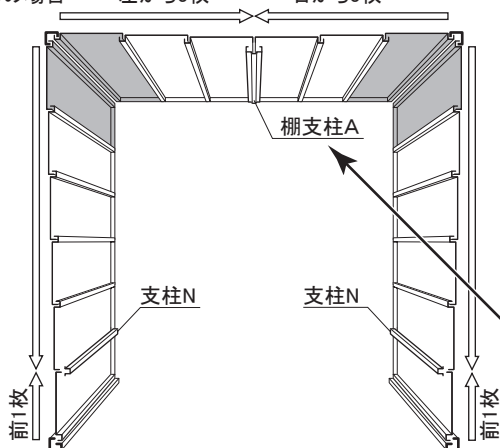
1870mm(壁4枚)の場合… 左から2枚 右から2枚
 2290mm(壁5枚)の場合… 左から3枚 右から2枚
 2710mm(壁6枚)の場合… 左から3枚 右から3枚

【ボルト・ネジ板数】

※TypeBやオプション壁等が付かない場合の数量になります。

機種	1826H	1830H	2226H	2230H	2235H
M6ボルト	90	98	94	102	110
ネジ板	44	48	46	50	54
パッキン付ネジ板	42	46	44	48	52
ネジ板B	3	3	3	3	3

機種	2626H	2630H	2635H
M6ボルト	98	106	114
ネジ板	48	52	56
パッキン付ネジ板	46	50	54
ネジ板B	3	3	3

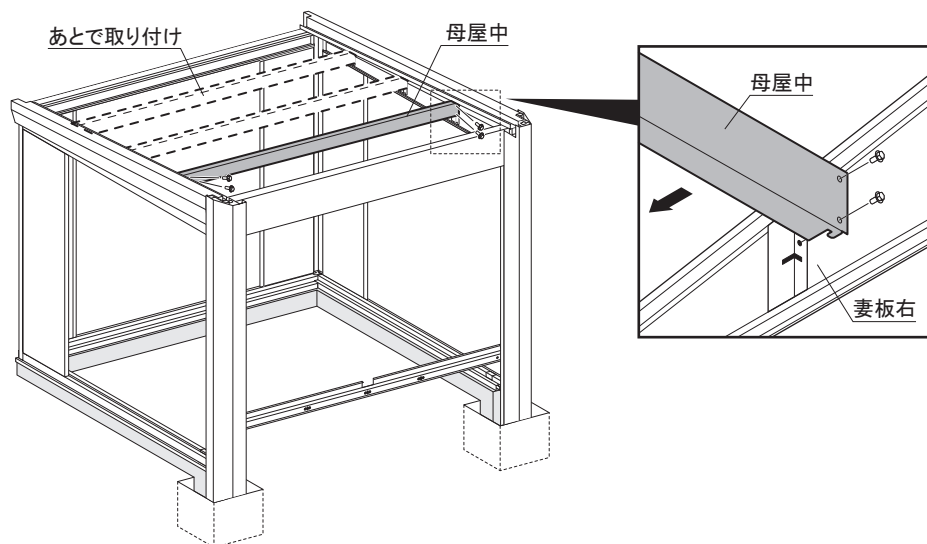


内壁が後面に付く場合、棚支柱Aの取り付けは不要です。

12. 母屋中取付

母屋中を妻板左右の母屋受けにはめ込み、ボルトで取り付けます。

母屋中は一番前の1本だけ取り付け、残りは「14.屋根パネル取付」の後に取り付けたと安全に組み立てができます。

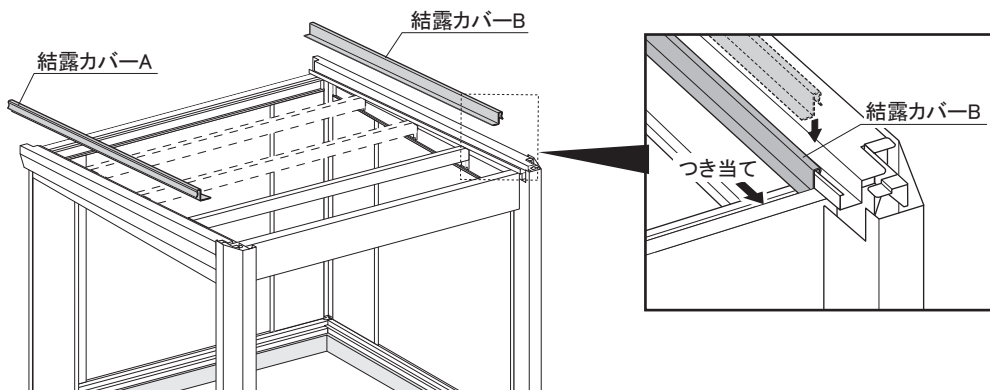
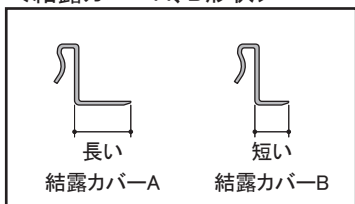


M6ボルト: 母屋中の本数×4本

13. 結露カバーの取付(結露軽減材付き屋根の場合のみ)

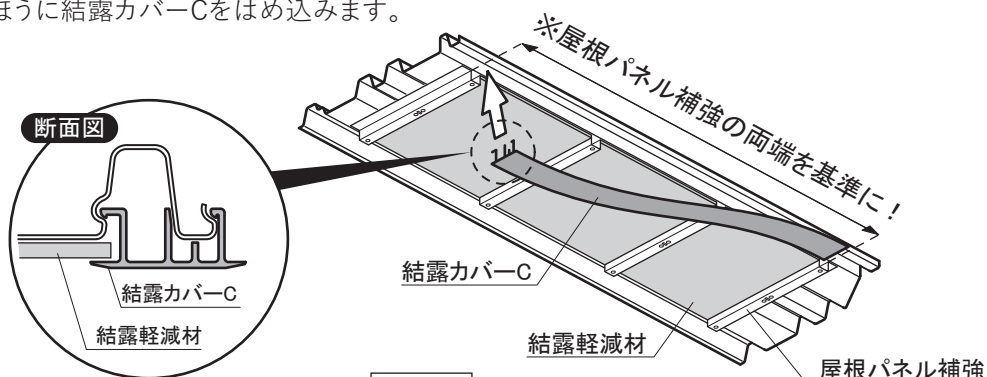
- ①結露カバーAと結露カバーBを妻板にはめ込みます。
※結露カバーAとBは形状が似ています。形状を確認して取り付けてください。

<結露カバーA、B形状>



- ②屋根パネルの山の小さいほうに結露カバーCをはめ込みます。

<結露カバーC形状>

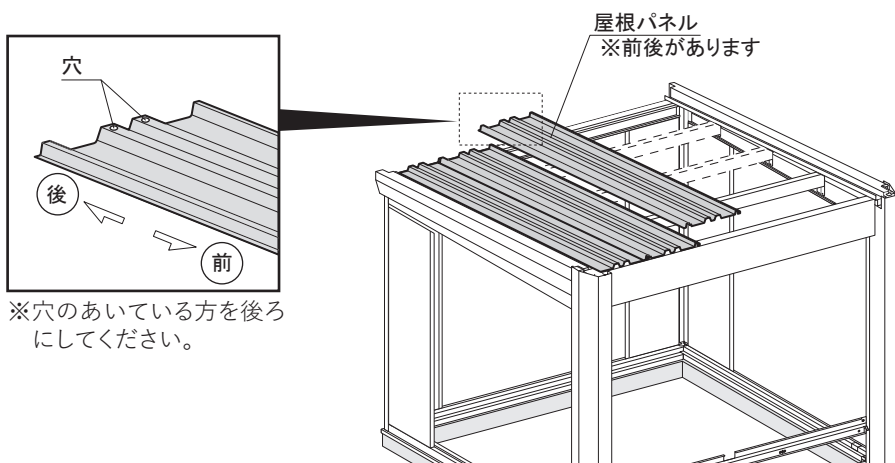


注意

結露軽減材は傷や汚れがつきやすい素材です。指等で強く押さえないよう扱いには十分ご注意ください。

14. 屋根パネル取付

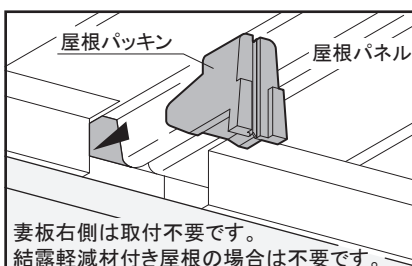
- ①屋根パネルを妻板左からつなぎ目をかみ合せてのせ、桁前・桁後・母屋中にボルトで取り付けます。
- ②屋根パッキンを桁後と屋根パネルのつなぎ目に押し込みます。結露軽減材付き屋根の場合は取り付けません。



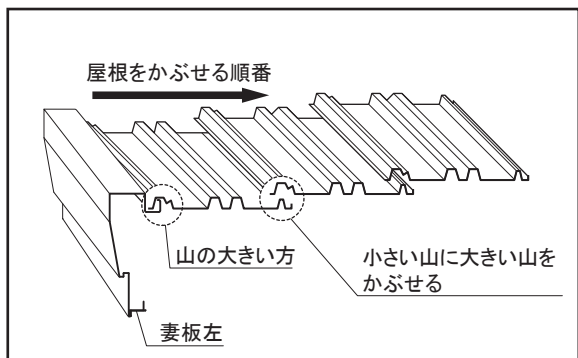
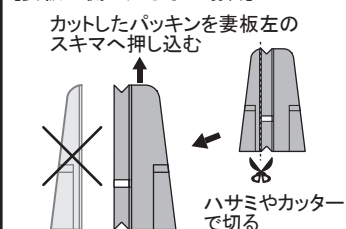
※穴のあいている方を後ろにしてください。

【M6ボルト使用数】

機種	1826	1830	2226	2230	2235	2626	2630	2635
数	40本	40本	50本	50本	60本	60本	60本	72本

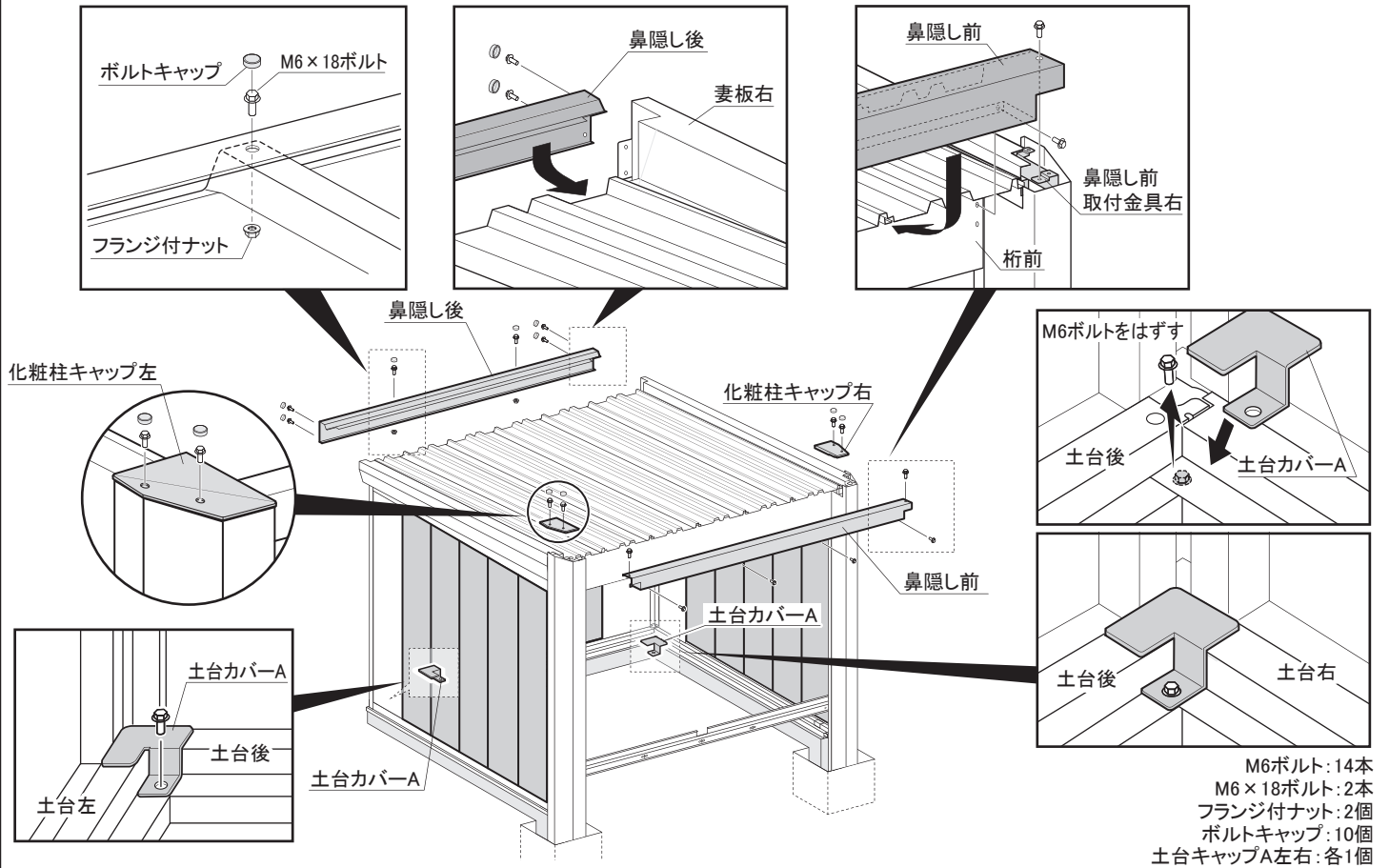


[妻板左側に入らない場合]



15.鼻隠し・土台カバーA・化粧柱キャップ取付・(Type Bのみ:高窓取付)

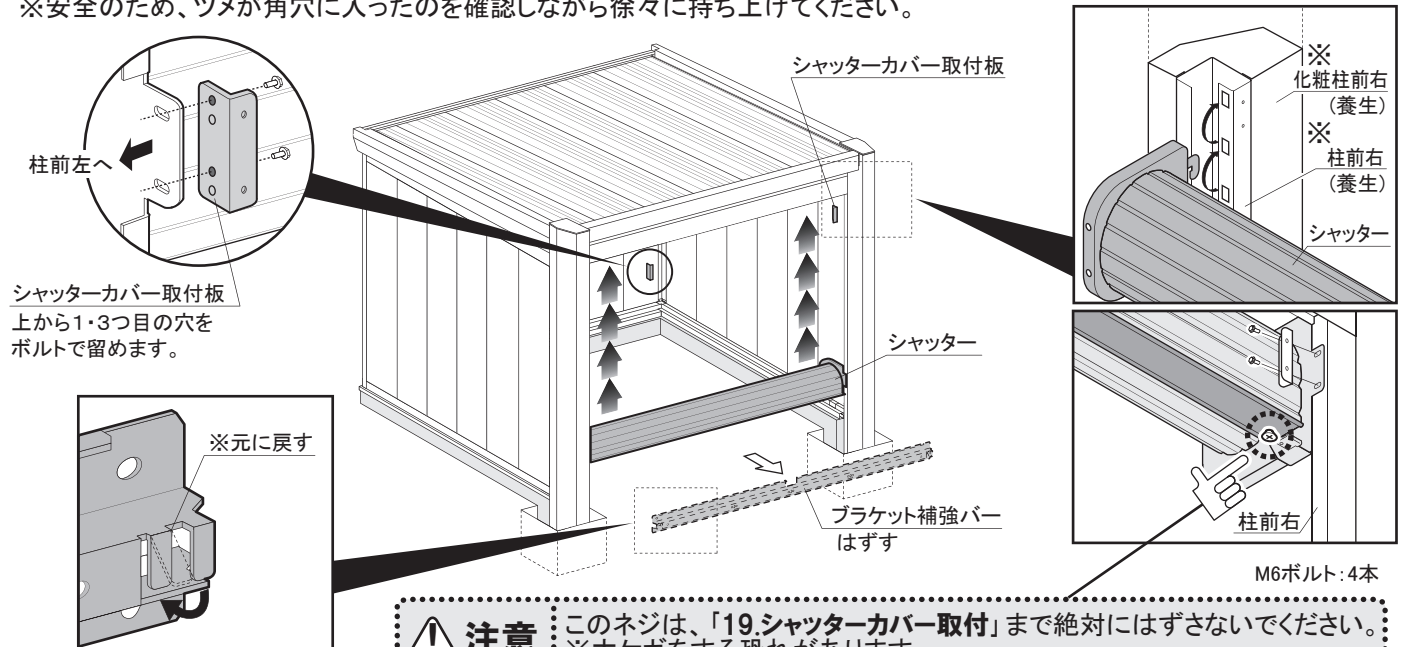
- ①鼻隠し前、鼻隠し後を屋根にかぶせ、M6ボルトで取り付けます。
- ②壁パネルを「11.壁パネル取付」の●壁パネル組合せ図に従って全て取り付けます。
※Type Bの場合は高窓の組立説明書を参照し、高窓を取り付けてください。
- ③土台後と土台左右を留めているM6ボルトをはずし、土台カバーAをM6ボルトで取り付けます。
- ④化粧柱キャップ左右をM6ボルトで取り付けます。
※化粧柱キャップの穴が合わない場合は化粧柱のボルトをゆるめて調整してください。



16.シャッター取付

※ブラケットと柱・化粧柱が接触して傷付かないように、養生してください。

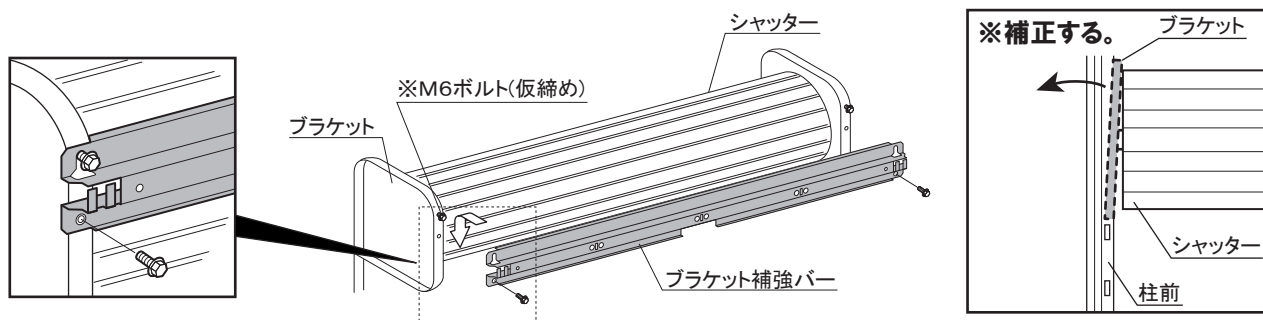
- ①ブラケット補強バーをはずします。
※「10.ブラケット補強バー取付」で曲げたツメは必ず元に戻してください。「シャッターケース」の取り付けができなくなります。
- ②シャッターブラケットのツメを柱前の角穴に入れ左右交互に持ち上げます。ツメが1番上の角穴に入ったら、シャッターカバー取付板と共にブラケットを柱前にM6ボルトで取り付けます。
※安全のため、ツメが角穴に入ったのを確認しながら徐々に持ち上げてください。



注意 このネジは、「19.シャッターカバー取付」まで絶対にはずさないでください。
※大ケガをする恐れがあります。

17.ブラケット補強バー取付

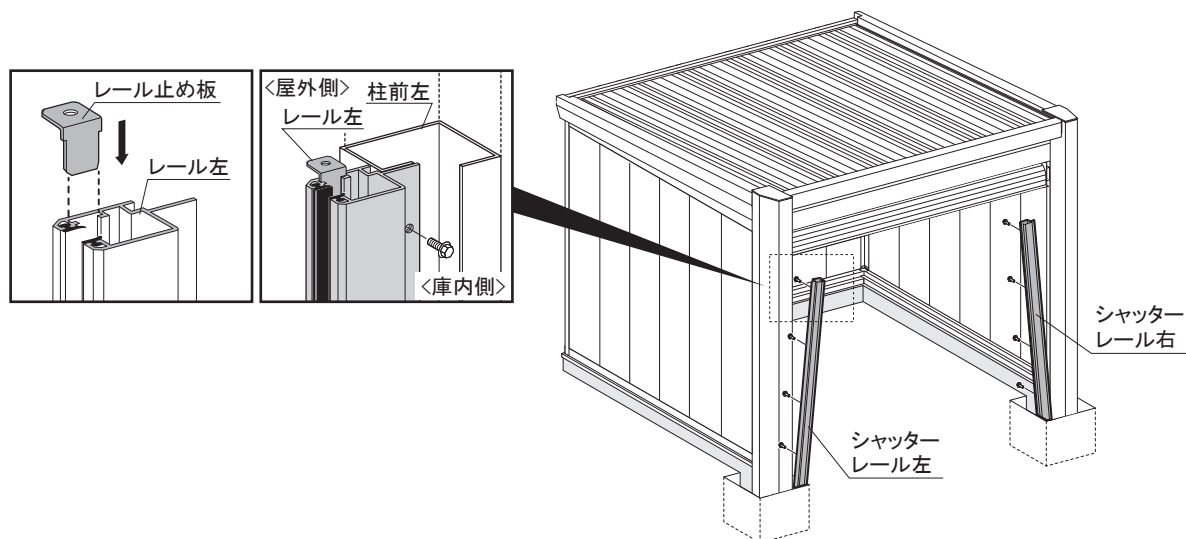
ブラケットの一番上のネジ穴にM6ボルトを**仮締め**し、ブラケット補強バーをそのボルトにひっかけます。
 ブラケットのゆがみを補正し**本締め**してから、下のM6ボルトを取り付けます。
 ※ブラケットがゆがんだままですと、異音や故障の原因になります。



M6ボルト:4本

18.シャッターレール取付

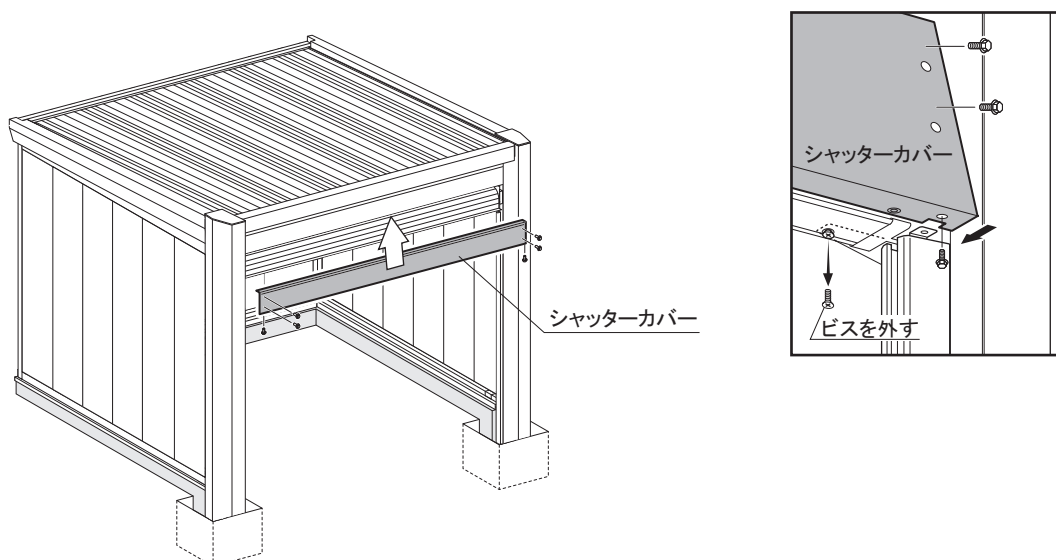
シャッターレール左右上部にレール止め板をたたき込み、柱前にM6ボルトで取り付けます。



M6ボルト:8本

19.シャッターカバー取付

- ①シャッターカバーを桁前にはめ、M6ボルトで取り付けます。
- ②シャッターを止めているビスをはずします。



M6ボルト:6本

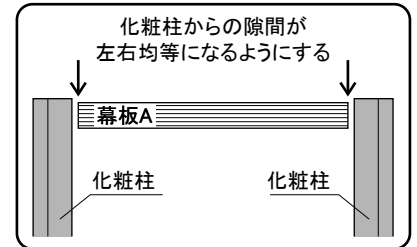
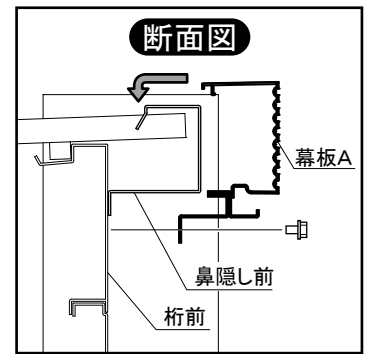
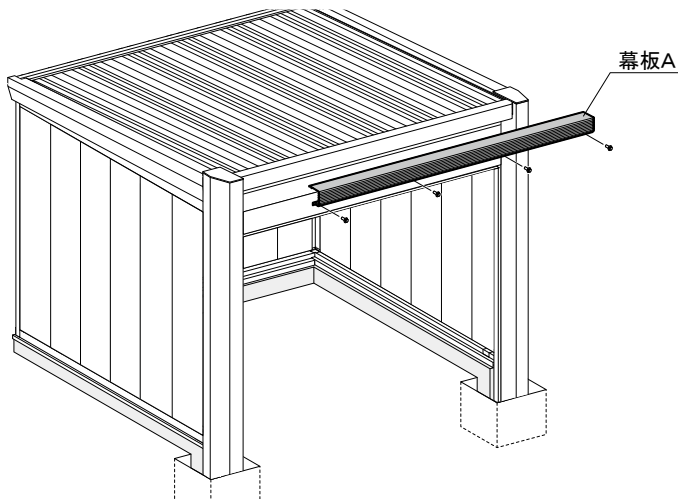
20.シャッターケース取付

シャッターケースの組立説明書を参照し、シャッターケースを取り付けます。

21.幕板取付

21-1幕板Aの取付

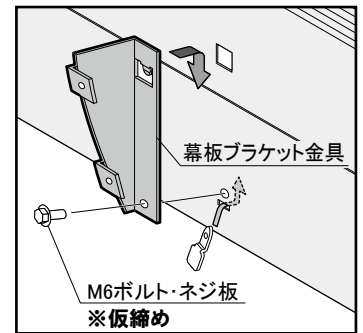
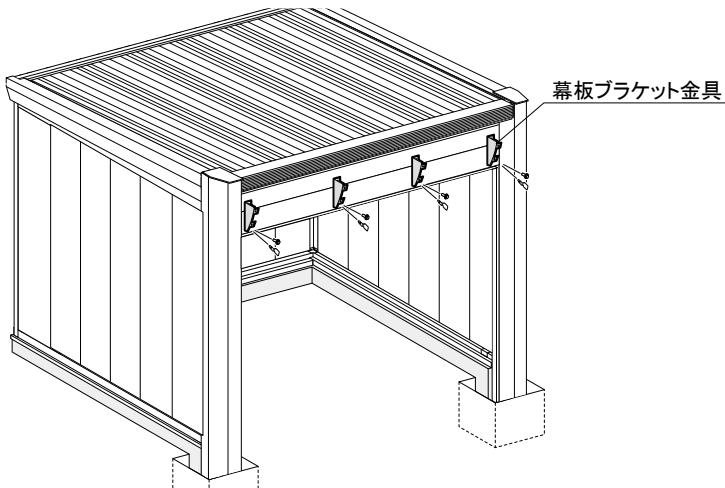
幕板Aを鼻隠し前にのせ、M6ボルトで桁前に取り付けます。



M6ボルト: 4本

21-2幕板ブラケット金具の取付

幕板ブラケット金具を桁前にひっかけ、シャッターカバーの○□穴にネジ板とM6ボルトで仮締めします。

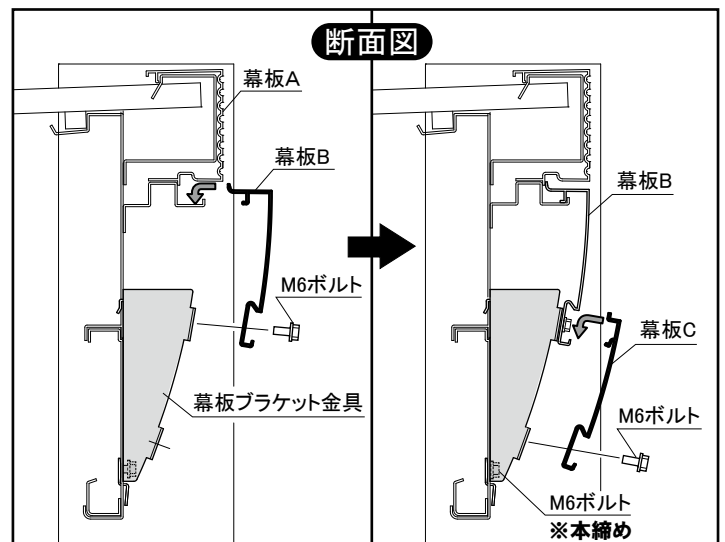
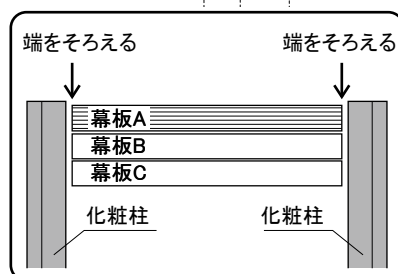
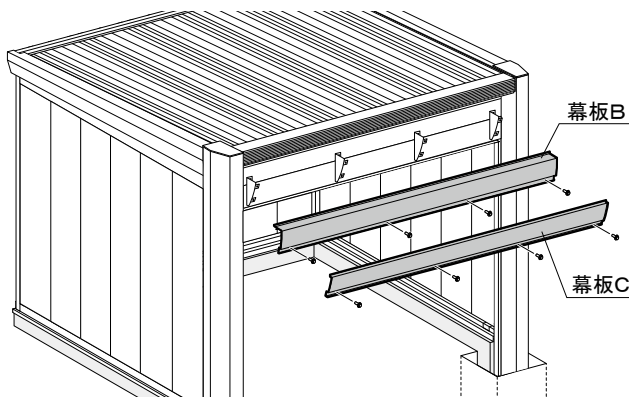


M6ボルト: 4本
ネジ板: 4個

21-3幕板B・Cの取付

幕板Bを幕板Aにひっかけ、幕板Aの端と位置を合わせてから、幕板ブラケット金具にM6ボルトで取り付けます。次に幕板Cを幕板Bにひっかけ、幕板A、Bの端と位置を合わせてから、幕板ブラケット金具にM6ボルトで取り付けます。

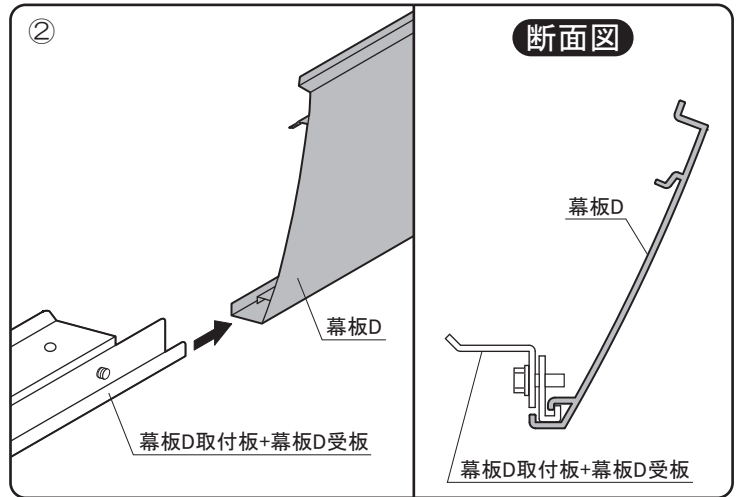
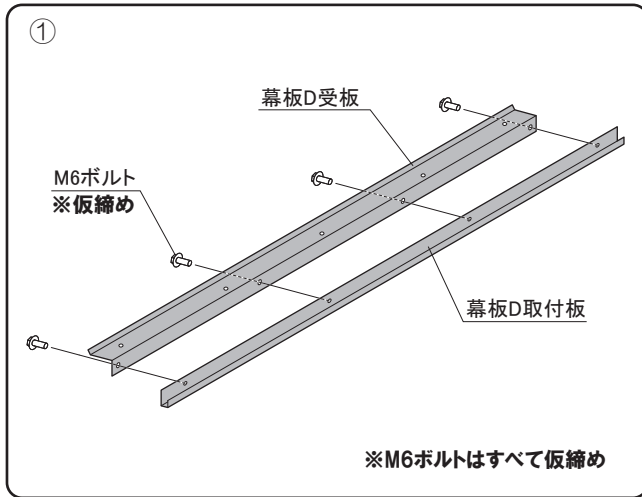
21-2で幕板ブラケット金具に仮締めしたM6ボルトを本締めします。



M6ボルト: 8本

21-4幕板D前工程

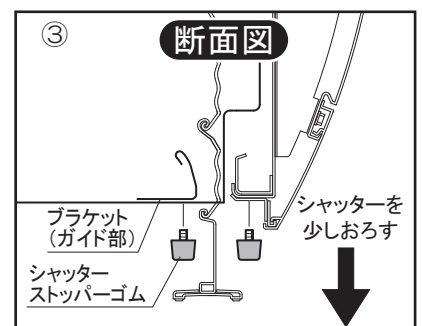
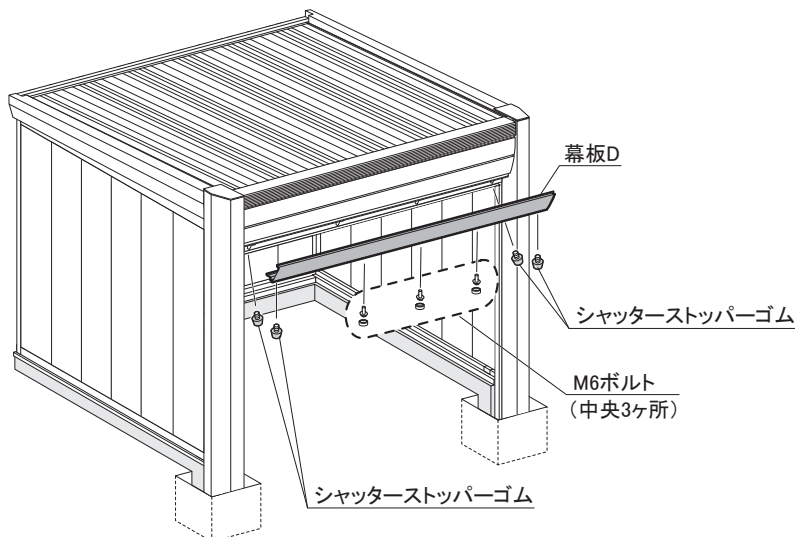
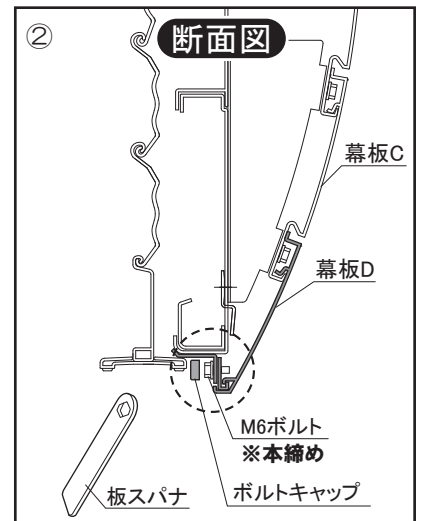
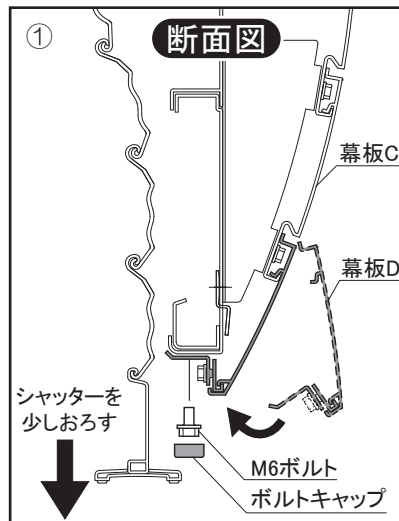
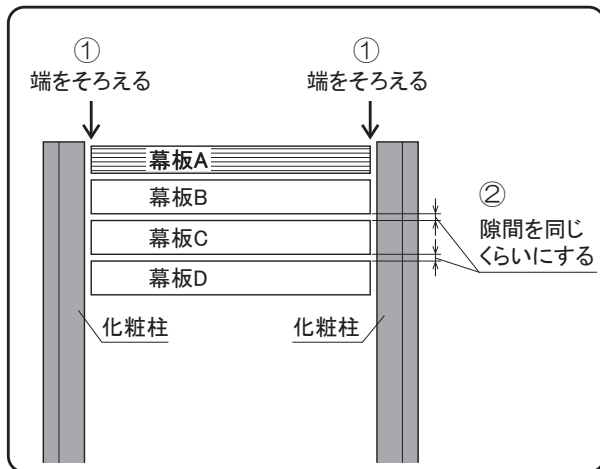
- ①幕板D受板と幕板D取付板をM6ボルトで**仮締め**します。
- ②幕板D受板と幕板D取付板を合わせたものを幕板Dの溝に差し込みます。



M6ボルト: 4本

21-5幕板Dの取付

- ①幕板Dを幕板Cにひっかけ、幕板A、B、Cと左右端の位置を合わせます。シャッターを少しおろして、幕板Dをシャッターカバーの中央3ヶ所にM6ボルトで取り付けます。(両端2ヶ所は③でストッパーゴムを取り付けます。)
- ②幕板C、Dの上下の隙間が幕板B、Cの隙間と同じくらいになるように調整します。21-4で仮締めしたM6ボルトを板スパナで**本締め**します。
- ③シャッターを少しおろして、幕板Dの両端とブラケットのガイド部にシャッターストッパーゴムを取り付けます。
※M6ボルトにボルトキャップを取り付けてください。



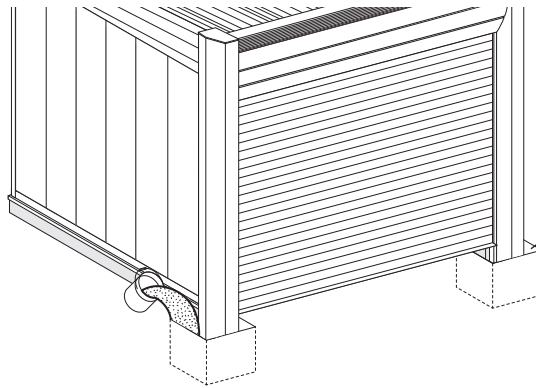
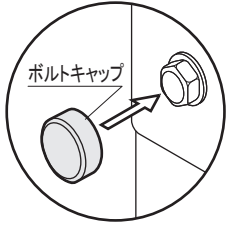
M6ボルト: 3本
シャッターストッパーゴム: 4個
ボルトキャップ: 7個

22.内壁・棚板取付(Type Bのみ)

内壁の組立説明書を参照し、内壁と棚板を取り付けてください。

23.柱埋め込み

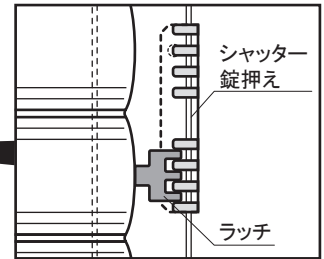
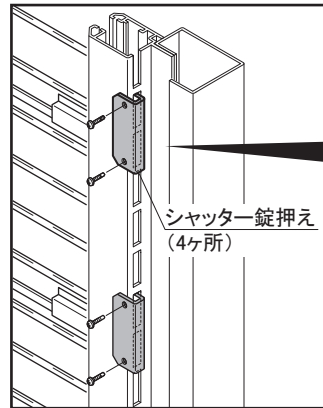
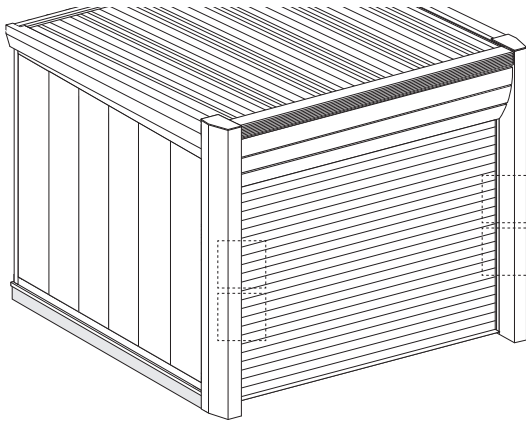
- ①間口寸法と柱前の垂直・通りを確認し、コンクリートを打ち込みます。
- ②外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。
- ③部品箱内にある機種シールを所定の位置に貼り付けます。



角穴1ヶ所に必要量
セメント: 12kg以上
砂 : 21ℓ以上
砂利 : 28ℓ以上

24.シャッター錠押え取付

中からシャッターを閉めツマミで施錠し、シャッター錠押えをシャッターレールの角穴からラッチにかませ、テクスネジで取り付けます(左右各2カ所)。
※土間打ち後、ラッチが上がる可能性があるため、シャッター錠押えの下部にラッチをかませてください。



φ4×10テクスネジ: 8本

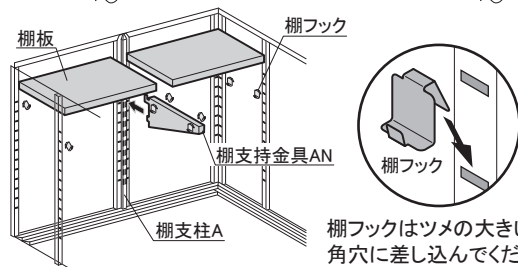
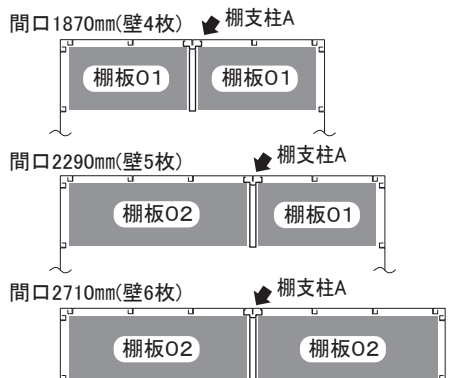
25.組立が完了したら!

保管ケースに取扱説明書・組立説明書を入れ、壁パネル内側の高さ140cmくらいの位置に貼り付けて保管してください。

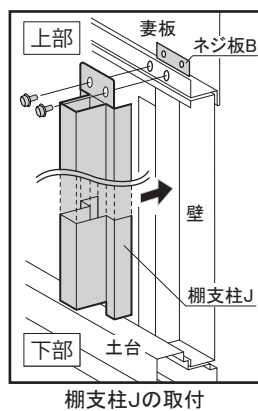
◆バイク保管庫別売棚板配置(Type Aのみ)

- ①棚支柱を所定の位置(下図参照)に取り付け、棚支持金具を棚支柱の角穴にひっかけます。
- ②棚板の梱包に入っている棚フックを棚支持金具と壁パネルに差し込み、棚板をのせます。

別売棚Dセット(後面棚)



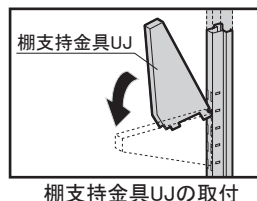
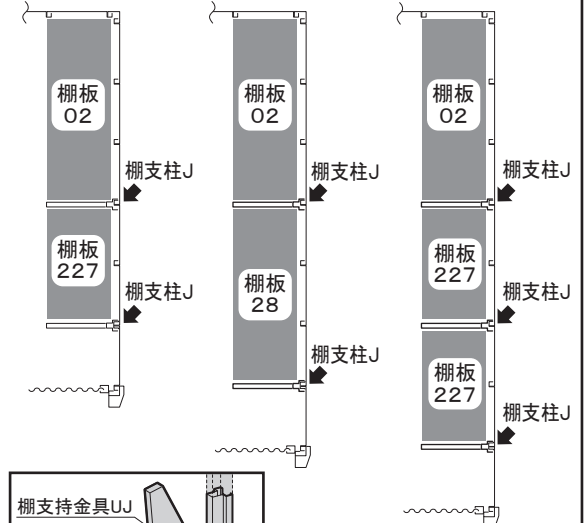
棚フックはツメの大きい方を角穴に差し込んでください。



支柱Nがある場合は、ボルトをはずし共締めします。

別売棚Cセット(側面棚)

奥行2735mm(壁6枚) 奥行3155mm(壁7枚) 奥行3575mm(壁8枚)



棚支持金具UJの取付

棚板01: 450×853 (mm)
棚板02: 450×1273 (mm)
棚板28: 450×1231 (mm)
棚板227: 450×811 (mm)